

化学物質過敏症を 知っていますか？



化学物質過敏症とは、ごく少量の化学物質に過敏に反応して様々な精神・身体症状を示す疾患です。発症の仕組みは、明確になっていませんが、誰にでも発症するリスクがあります。

症状の例

頭痛、吐き気、めまい、動悸、呼吸困難、粘膜刺激症状（目やのどの痛み）、全身のだるさ、皮膚の赤み、かゆみ、異常発汗、不眠、不安感、思考力低下等

原因となるもの

- 柔軟剤、洗剤、香水、芳香剤、消臭剤
- 防虫剤、殺虫剤、虫よけスプレー、農薬
- 接着剤、塗料、ワックス、住宅建材
- 排気ガス、粉塵、タバコ

柔軟剤、芳香剤などの強い香りによって

様々な症状が出ることもあり、「香害」と呼ばれることもあります。



私たち一人ひとりにできることがあります

- ★学校や公共の場などの人が集まる場所では、柔軟剤、洗剤、香水などの香りが過度にならないようにしましょう。自分にとっては快適な香りでも、苦痛に感じたり体調を崩す人が近くにいるかもしれません。
- ★農薬、殺虫剤、虫よけスプレーなどは、周囲に飛び散らないように努めましょう。
- ★害虫、ねずみなどを駆除するときには、薬剤に頼らない駆除の方法（清掃や進入路の封鎖など）を工夫しましょう。

原因が明確でなく、個人差があるため、周りから理解が得られずに苦しんでいる人がいます。個々に応じた対応が必要になる場合もあります。誰もが安心して暮らせる社会をつくるため、化学物質過敏症への理解を深め、ご協力いただきますようお願いします。